

飯南

いいなん

- 平成23年度 一般会計補正予算
- 一般質問に6人が登壇
- 採決の結果
- 討論
- 研修報告
- 議会活動報告
- 常任委員会報告

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第26号

平成23年7月20日



何これ？ なんじゃろ…

女亀山の静かな森に囲まれた神戸川源流の一角で、赤名小学校と来島小学校の4年生児童が生物調査をしていました。川の流域にある小学校が源流から河口付近までの水質調査を毎年行い、そこに棲む生き物などを調べて発表することで河川環境保護教育にもつなげていこうとするものです。川の流れは上から自然のバランスをとって流れていますが、どのように流そうかと思案するのは人間です。子ども達には自然との賢い付き合い方を伝えたいものです。

出雲三兵衛さん、志津見にダムが出来候。

永年の治水事業を継承して現在に

昔から斐伊川の流域は水はけが悪く、しかも下流の大橋川が狭いので、洪水時には宍道湖の水位が上昇して松江城下をたびたび水害が襲っていました。昭和47年7月豪雨や平成18年7月豪雨でも、松江市や出雲市周辺では大規模な浸水被害が発生しました。

江戸期に出雲三兵衛と称された大梶七兵衛、周藤弥兵衛、清原太兵衛の三氏は、私財を投げうって治水事業にそれぞれ取り組んできましたが、このたび時代を超えて国土交通省が出雲三兵衛に成り代わり、洪水調整等を主な目的として、神戸川上流に志津見ダムを完成させました。

この志津見ダムは一般的なダムとイメージが異なり、天端橋梁がありません。天端そのものが非常に洪水吐きを兼ねていて、満水になるとダムをそのまま越えて、約85mの高さから落水していくというもので、これほどの大きなスケールのもものは珍しいのです。



斐伊川・神戸川治水対策の3つの柱(3点セット)は
 ◆上流部での志津見ダム(神戸川)・尾原ダム(斐伊川)の建設
 ◆中流部での斐伊川放水路の整備(神戸川の拡幅含む)と斐伊川本川の改修
 ◆下流部での大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤の整備

平成23年度 一般会計補正予算を可決

6月定例会は、6月7日から6月17日までの11日間の日程で開きました。

6月定例会で可決された主な議案は次のとおりです

- 報告** 飯南町一般会計及び飯南町簡易水道事業特別会計並びに飯南町下水道事業特別会計繰越明許費の報告など2件
- 承認** 飯南町条例の一部を改正する条例など2件及び平成22年度飯南町一般会計補正予算(第10号)など6件
- 補正予算** 平成23年度飯南町一般会計補正予算(第2号)など4件
- 契約締結** 志都の里クラインガルデン建築工事請負契約の締結など2件
- その他** 飯南町過疎地域自立促進計画の変更など7件



平成23年度 一般会計補正予算は
 農作物鳥獣被害防止事業、公共土木施設災害復旧事業など

2億165万円増額

各会計	補正予算額	予算額
一般会計	2億165万円	70億4,009万円
特別会計		
国民健康保健事業	9万円	7億1,578万円
介護保険サービス事業	296万円	3,331万円
住宅新築資金等貸付事業	759万円	884万円
病院事業会計	9,954万円	10億7,715万円

町政を問う 一般質問



Q 原発災害への対応は A 県の動向を見ながら

伊藤 好晴議員
今回の大災害は、地震、津波が引き金だが福島原発の事故は全くの人災だ。日本では原発の重大事故は起きないとしてきた歴代の政府、電力会社による結果だ。

こうした原発災害をふまえ、県内市町村で協議する機関設置や、本町の地域防災計画を抜本的に見直す考えは。

山崎英樹町長

福島原発事故はさまざま問題が生じているが、今、原発を廃止することは社会経済活動に与える影響は甚大なものがあるので、安全対策が十二分に確保された上で稼動することが大切だ。

町村会も県に対し、原子力発電の安全確保と防災対策の強化について要望するよう準備を進めている。

県も原子力防災連絡会を設置し、国の方針に基づき地域防災計画の見直しなどを行うことになっており、本町もこうした動向を見ながら対応していく。

Q 糖尿病対策は A 前向きに対応する

伊藤議員

本町は、糖尿病患者及び予備軍割合は雲南保健所管内で一番高いといわれている。本町の状況は、どのように推移しているか。

本町には友の会の組織がない。患者や家族同士が励ましあうことは、闘病患者の生活には重要な行政が呼びかけて結成の努力をする考えは。

また、日本糖尿病学会による血糖コントロール評価指標が国際基準に変更されたが、患者への周知ならびに飯南病院へのヘモグロビン簡易測定装置の設置は。



ヘモグロビン簡易測定装置の一例

山崎町長

本町の現状は特定検診の推移は横ばいで、県平均より高く減少傾向にはない。友の会は以前赤赤地区にあったが、会員の減少により解散された。現在は飯南病院に月2回患者サロンが開かれている。機運が高まれば行政として友の会結成に努力する。

評価指標は、学会の別途告示があるまでは現行の表記で行う。簡易測定装置については、飯南病院と協議している。

Q CATVの再検討を A デジタル化を促進

伊藤議員

ケーブルテレビの料金を改定する文書が配布されたが、STB(セットトップボックス)の全戸設置の必要性、文字放送の選択方法や料金など諸問題があるので、今一度開始前に検討する考えは。

山崎町長

町では、防災行政情報や難視聴地域の解消、双方向システムの利活用を目的に全戸接続を基本に整備を進めてきているので、簡易な情報機器としてSTBが必要となる。

国の方針を踏まえ、飯南局のデジタル化を進めている。情報放送については、デジタル化を契機に利便性の良いシステムにする考えだ。



まきボイラー

Q バイオマス事業の実用化は A 森林整備と合わせて

長島議員

本町でバイオマスタウン構想や緑の分権改革にいち早く取り組んだ先見性は評価するが、将来展望が見えない。地域資源を活かしたこの構想は、研究に留まることなく実用化に取り組むべきだ。

山崎町長

これまで「新エネルギービジョン」「バイオマスタウン構想」を策定し、

より具体化するために緑の分権改革推進事業で実証実験を行った。木質バイオマス事業を実用化するには、木質の供給体制と価格という課題があることを踏まえ、調達の仕組みづくりと、総合的な森林整備を合わせて進めていく。

山崎英樹町長
災害時の避難場所37施設の内、土砂災害警戒区域内に23施設がある。ハード面での対策が可能な施設は県へ要望している。県の防災システムから気象情報や雨量データ等を収集し、住民への周知を図り、町としての警戒態勢をとっている。また、これから運用が開始され



長島 正一 議員

東日本大震災を受け、全国各地で災害防止のための検証作業と対策が論議されている。この機会に本町の防災マニュアルを見直し、検討しては。

Q 原発にどう取り組む A 県の策定状況みて検討

長島議員

住民の安全と安心を確保するため、県や広域連合とどのように連携し、原発が抱える課題にどのように取り組んでいくのか。

山崎町長

現在、県において原子力防災連絡会議が設置され、国の指針に基づき地域防災計画の見直しが行われる予定で、その策定状況を見ながら、諸課題について検討する。



6月定例会 町政を問う 一般質問



門 眞一郎議員
小規模校の保小中高一



Q 本町の教育理念は
確かな学力つける

貫教育は一人ひとりの才能を伸ばす仕組みのほすが、利点がうまく活用されていない。本町は定住に力を入れているが、住みよい環境の整備や子育てへの厚い支援とともに大切なが、充実した教育環境の構築だ。日本はしばらく厳しくつらい時代が続くが、こ



Q 三瓶山振興協に何を提供
A 森林セラピー事業など



安部誠也議員
昨年12月の一般質問で大田市と観光事業の連携を提案した。

6月下旬に設立される三瓶山広域ツーリズム振興協議会は、運営主体は大田市であると認識しているが、飯南町側から何を提供していくのか。

山崎英樹町長

本町では森林セラピー事業、温泉、地域食材などの貴重な観光資源を提供したい。さらに三瓶山周辺を連携させた観光型滞在ルートの構築をはじめ、全国展開しているアウトドアシヨップとの連携によるPRなどで、本町への入込客を増やしたい。

Q 生物多様性保全を
A 共有財産としたい

安部議員
町の将来像に「豊かな自然を生かしたまち」とあるが、世界的に急務となっている生物多様性の保全に関する取り組みについてどう考えているのか。

国と県は法律と条例の制定で、里地・里山の保全と生物多様性の保護を図っている。北広島町は条例を制定し、保全機運が高まり、町民一丸となった地域づくりを行っている。

森林セラピー基地を持つ飯南町は生物多様性の保全条例を制定し、二枚看板として、「生命地域」の考えに基づき、自然を「守る」「活かす」の観点と、その自然を「役立たせる」ことにより観光客を呼び込むことができるが、

また、鳥根県が出版した「改定しまねレッドデータブック」には、絶滅

や絶滅危惧などの動物475種、植物361種の合計836種が選定されているが、本町で確認されているものは何種か。

山崎町長

生物多様性・自然環境の保全活動は、保全意識の教育・次世代の育成が重要であることから、小中学校における環境教育を実践しており、今後継続していく。

条例制定は今後の検討課題であるが、豊かな自然を町民共有の財産として保全することを共に進めていきたい。

町内において絶滅危惧種の生息生育が確認されているものは動物が78種、植物が48種である。

Q レッドゾーンの
作業状況は

A 平成27年度頃確定

安部議員

本町では平成21年度に飯南町土砂災害ハザードマップ(イエローゾーン)

が策定されていますが、より厳しい規制が予想されるレッドゾーンについて現在の取り組みは。

レッドゾーンに指定されると宅地開発等が制限されるなど、許可、規制、勧告が生じることになる。

結果として新たな住民負担が発生するが、対象地域への対策、また、他市町村の状況は、さらに新庁舎建設予定地を含めた公共施設について問う。

山崎町長

レッドゾーンの確定は平成27年度頃になる。イエローゾーンに基づき可能なところから補強工事を行っている。

支援措置としては住宅補強を行う県土砂災害特別警戒区域内住宅補助、住宅補強支援事業、また、崖地建設等危険住宅移転事業などがある。

指定が済んでいるのは旧江津市のみだ。新庁舎は検討中であり十分に考慮する。

Q 買い物支援を提案
A システムを構築

門議員

本町が高齢になっても住みよい町であるために、買い物弱者と小売店を結び組み合わせる必要がある。中国

5県の中山間地域や過疎地では、買い物弱者向けサービスへの取り組みが広がっている。

町長は町営バス路線の充実に向け、高齢者の買い物や通院の利便性を図ってきた。しかし、末端まで行き届いたサービスを行うことは困難だ。

これを補完するために、小売店と高齢者を結び宅配サービスの実施を提案する。

山崎英樹町長

昨年策定した過疎自立促進計画及び総合振興計画の後期計画において、生活支援していくシステムの構築をすることとしている。

負担の軽減、地元商店の活性化・振興に視点を置き、担い手である商工会など生活サービス提供者と窓口機能を受け持つ組織の役割が重要で、その受け皿として里山コミッションを考えている。

地元の商店



宮崎県西米良村は県下で最も人口の少ない村であるが、平成7年から日本型ワーキングホリデーに取り組み、交流人口の拡大を図ることで、元気で活力のある村づくりを展開している。

若者の定住対策費に一般会計の6.7%

平成12年に平成の大合併について協議、地域・村づくりへの村民の意欲が強く、自立自走を選択した。

平成19年には厳しい時代に生き残るため、平成の桃源郷構想に着手した。西米良村には人口減少、少子高齢化、生活基盤整備など課題は山積しているが、菊池の殿様の精神、元気な村民気質、てごり(ゆい)、守り続けられてきた自然と伝説など宝とする資源も豊富で、これにより西米良の幸せ観を見出すための新たな村づくりがスタートした。

当委員会はこの村の若者定住と子育て環境作りに着目し研修に訪れた。この村では6つのポイントの充実を図る取り組みがされている。



菊池の殿様の旧城(小川城)

- 1) 若者の定住支援や若者活動支援**
若者定住住宅の整備：1DK8戸家賃7千円、2DK8戸家賃1万円など
U.Iターンの独身男女が入居し、3組が結婚し13名が村内在住の若者と結婚した。
- 2) 結婚支援**
カップリングイベント；村の若者が企画立案、運営を行う。
結婚報奨金交付制度；20万円/組
92組に交付など。

- 3) 出産しやすい環境づくり**
西米良村出産祝い金；第1子5万円、第2子10万円、第3子30万円、以降10万円ずつ加算など。
- 4) 健やかに育てる子育て支援**
未就学児を養育する保護者に9万6千円/年の金券など。
- 5) 伸び伸びと育む教育環境支援**
通学距離4km以上の小中学生のバス代を全額支給、給食費に1,700円/月助成、修学旅行に小学生5万5千円、中学生7万円の助成、高校が無いので寮費3万円/月を助成など。
- 6) 定住支援**
マイホーム建築祝い金；住宅を新築すると100万円。住宅取得祝い金；中古住宅を取得すると20万円が交付など。

この村は菊池の殿様が教育を奨励し、以来教育水準が宮崎県で上位に位置している。小中学校の教員は充実した子育て支援や教育水準の高さを魅力として家族連れで赴任を希望する。

定員を超える希望があるため、村単で加配を行っている。おかげで優秀な教育者に恵まれ、子供の増加にも寄与している。

この地域は九州山地の真っ只中に位置し、都市の暮らしと比較しようが無い、西米良には西米良の幸せがあることを実感した研修であった。



6月

- 2日 雲南地域協議会議長連絡会視察研修会：尾原ダム、斐伊川放水水路、志津見ダム
- 3日 議会運営委員会：6月定例会の提出議案、日程外の協議
- 7日 **6月定例会**：本会議、町長行政報告、提出議案の説明、質疑
- 10日 ；本会議、一般質問
- 13~16日 ；委員会審査
- 17日 **6月定例会**：本会議、討論、採決
- 19~21日 総務厚生常任委員会視察研修（宮崎県西米良村）
- 29日 議会広報編集委員会：一般質問要約作業

議会活動報告(4月~6月)

4月

- 6日 議会広報編集委員会：一般質問要約作業
- 7日 教育経済常任委員会
- 13日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業
- 14日 議会全員協議会
- 15日 雲南広域連合議会臨時会
- 19日 総務厚生常任委員会視察研修（鳥取県日野病院）
- 22日 雲南地域協議会議長連絡会総会

5月

- 16日 教育経済常任委員会
- 23日 総務厚生常任委員会
- 24日 議会全員協議会

6月定例会における採決の結果

件名	結果	安部朋次	小野 覚	難波 俊司	瀧尻 行雄	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞一郎	安部 誠也	石原 敏郎	熊合 兼樹
専決処分の承認を求めること(飯南町税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成22年度飯南町一般会計補正予算(第10号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成22年度飯南町老人保健事業特別会計補正予算第2号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成22年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算第6号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成22年度飯南町下水道事業特別会計補正予算第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成23年度飯南町一般会計補正予算第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること(平成23年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算第1号)	承認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯南町過疎地域自立促進計画の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少(東出雲町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少(斐川町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町一般会計補正予算第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町病院事業会計補正予算第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少(東出雲町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少(斐川町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志都の里クラインガルデン建築工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町立赤来中学校校舎・屋内運動場耐震補強改修工事(校舎棟)請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員 ●反対議員

討論

飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例

【反対討論】

伊藤 好晴

この条例案は、国民健康保険料の「賦課限度額」を、基礎賦課分1万円、後期高齢者支援金賦課分1万円、介護納付金賦課分2万円、合計4万円引き上げのものです。昨年に引き続きの引き上げとなる。賦課限度額が引き上げとなるのは、21年度36世帯、22年度17世帯、今年度25世帯だとの説明だが、対象世帯は個人事業者が多く、これ以上の負担増は容認できないので、この条例案に反対する。

【賛成討論】

石原 敏郎

国民健康保険が飯南町単独で行けるかどうかの議論があり、また、行政は絶えず変革を求めなければならぬが、急激な変化は避けるべきだ。加入世帯は事業主や低所得の方が多く、保険料は安いに越したことはないが、そのレベルを審議しながら、少しずつでも上げざるを得ない。これは政治に課せられた大きな課題だが、保険料の急激な変化は避けるべきだとの立場から賛成討論とする。

平成23年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算

【反対討論】

伊藤 好晴

この補正予算は、これまでの同和対策事業の中で不正な貸し付けを行った結果、返済が滞り、歳入欠陥したため繰り上げ充用するものだが、これは毎年繰り返されておらず納付がたい。この資金が、子育てや教育に回されておれば、どれほどの効果を上げることができたかを考えると残念でない。9、600万円貸し付けられ現在は2件残っており、来年度で償還年度が終了する予定だと説明を受けたが、この問題はもとへ置かず、早急に対処されることを求めて反対討論とする。

【賛成討論】

石原 敏郎

6番議員の反対討論通りではあるが、平成に入り我が国は非常に大きな変化に急襲され、故意に滞納しているとは言いえない側面もある。また、町長は契約に沿って執行しなければならぬが、やむを得ないものについては過去を振り向いても仕方ない。借入金返済できるような経済環境を構築しなければならぬことを肝に銘じながら、賛成やむなしの立場での討論となる。

平成23年度飯南町一般会計補正予算(第2号)

【賛成討論】

石原 敏郎

生姜栽培に関連し、商工振興費として148万円予算計上しているが、今後大きな問題を残すとして、予算特別委員会は附帯決議を付した上で可決されました。この予算で町は、中国の山東省安丘市に視察に行くとしていますが、日本で一番大きな産地である高知県はすでに安丘市へ出向いて調査し、生産・経営・販売の3点にわたり綿密な計画を立て懸命な努力をしている。町が中国に直接出向かなくても、こうしたことを町長は十分頭の中に入れ、附帯決議に沿うよう申し上げたうえで、賛成討論とする。

教育経済常任委員会

委員長
小野 覚

農作物鳥獣被害防止事業

国の鳥獣被害防止総合対策事業を導入して、集落で合意形成のもと地域ぐるみで行う事業です。

金網フェンス、電気牧柵を設置するもので、町内各集落から出された希望額に対して国の配分額が少ないため、不足分を町単独で行います。

集落内の合意形成がなされていない集落もあるので、町が指導して再度申請されたら受け付ける考えです。



電気牧柵

全国和牛能力共進会出品対策事業

来年、長崎県で開催される全国和牛能力共進会出品対策協議会への補助と飼養管理経費です。

今回は候補牛を町が買い上げ、一ヶ所に集めて管理し、調教、体型の均一化を図っていかうとするものです。

委員からは、子牛の価格補填は今年度中に決定するのか、決定しなければ予算を執行できないのではないのか。また、全共終了後の牛をどうするか等質疑がありました。

子牛の価格補填は今回の予算計上分は年度末までの実績で予算を執行していきたい。また、全共後の払い下げは買い上げ前の所有者か、世話をされた若手を対象にし、価格はそれぞれで決定する考えです。



共進会

生命産業創造プロジェクト事業

町内の農業者グループが、生姜の試験栽培に取り組みます。これにともない町として、6次産業化に向けた支援のため148万円の予算計上をしました。

試験栽培の段階で中国に職員を派遣する緊急性、またアドバイザー契約についてなど、質疑が相次ぎました。当委員会としては、次の付帯決議案を付したうえで、慎重な予算執行にあたるべきだとの結論にいたり、予算特別委員会に報告しました。



生姜畑

〈付帯決議(案)〉

予算特別委員会は、このたび付託を受けた標記の議案については、原案可決すべきものと判断するが、事業の執行にあたっては、次の点に十分留意した上で執行されるよう求める。

- 1) 生産者団体による任意組織の設立を指導すること。
- 2) 現時点では、生産者の生産活動の支援に徹すること。
- 3) 予算は生産者団体への支援に支出すること。

※この付帯決議案は予算特別委員会で採択され、本会議において当事業を含む一般会計補正予算は可決されました。

総務厚生常任委員会

委員長
瀧尻 行雄

飯南町国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険の賦課限度額が引き上げられます。基礎賦課分が50万円から51万円に、後期高齢者支援均等賦課分が13万円から14万円に、介護納付金賦課分が10万円から12万円に引き上げられ、1,000万円を超える所得者の負担額が若干上がります。

飯南病院

病院情報システム調達事業

今まで飯南病院では医師が開発した独自システムによって予約、検診、医事などのデータを管理していましたが、機器の老朽化や担当医師の転勤により保守が困難になったため、電子カルテシステム(総合医療管理システム)を導入することになりました。

これにより、患者情報の適切な確保、チーム医療高度化、情報活用環境の向上、個人情報保護・管理向上、未収金管理強化などの効果が期待できます。

導入方法は業者から主要部分の提案、価格の提示を受け、総合的に評価、審査した後、導入業者を決定し、詳細を協議の後、随意契約により導入を行います。予算額は8,800万円です。



電子カルテシステムが導入されます

看護職員の状況

飯南病院では看護師、准看護師、看護助手の総数は44名(嘱託職員、臨時職員を含む)です。

このうち産前・産後休暇、育児休暇の職員は7名あり、このこと自体は大変に喜ばしいことなのですが、現場の看護職員は恒常的に不足している状態です。

飯南病院は平成22年度黒字になりました。これは医師と看護職員の努力の結果です。医師と看護職員の不足が恒常化するとサービスの低下を招くのみならず、経営を直撃する大問題となります。

平成23年度より医療従事者確保対策助成制度が始まり、医師、薬剤師、看護師を目指す学生の各1名に対し助成が開始されていますが、現場で従事するのはまだ先のことです。

読者の皆さんに看護師のお知り合いの方があれば飯南病院へご紹介ください。



飯南病院

和牛農家の若者たちが ぎゅうぎゅうかい Gyu・牛会を 立ち上げた!!

会長の妹尾啓司さんに
インタビューしました
立ち上げの目的は

会長の妹尾啓司さん



若い世代で自分たちの考
える牛を作ってみようとい
うのが目的だった。
今は自分が飼っていても
事業主である父親の牛とし
て扱われている。全共候補
牛を飼育しているが、これ
からの牛はどういう牛がい
いのか議論して、互いに共
有することが目的で若手14
名で結成した。

将来の夢は

飯南町の畜産が衰退して
いくのを止めたい。
今は牛も経営も親のもの
だから自分の考えている経
営や育て方を実践できないが、
自分の時代になっても畜産
農家を絶やさず続けていき
たい。

親世代から応援メッセージ

(インタビュー)

行政に対しての期待は

まず、自分たちでやって
みたかった。
自分たちの力でやってみ
なければ、力が付かないの
ではないかと思っている。
出来るところまでは自分で
やって、行きづまったとき
相談に乗って欲しい。



那須 道弘さん



全共候補牛の世話をしているところ

親であれ子であれ、どこ
の家でも一緒だが、世代交
代することが一番難しい。
農業者は自分の考え方で経
営をしているので、親と子
の考えは必ずしも同じでない。
世代交代をすることは大切
なことだが難しい問題だ。
親から見ると子供は半人前
のくせに何を言っているとい
う思いがある。親と子供
とは目標としているところ
に違いがある。

酪農は300年の歴史が
あるが、和牛は昭和の初期
に始まって高々80年に過ぎ
ない、次の代に繋ぐことが
出来れば100年の節目を
迎えることが出来る。農業
は農産物で勝負するものだ。
その人の生い立ちは関係
ない。どういう作物を作っ
ているか、牛はどういう牛
をつないでいるのかが大切
なことだ、後継者にもこれ
を突き詰めて欲しい。
農業は面白くなければな

らない、儲かることも大切
だが、牛舎でも田んぼでも
さっと見ればいつまでたっ
ても変わらない。見えない
ものが見えるようになって
くるとそこに長くいるよう
になり、面白くて時間を忘
れるようになる。長い時間
居た農業者人ほどういものを
作る。若い人には自分でど
ういう農業をやりたいかな
かなか見えてこないと思う。

最終的には農産物は量だ
が、量より質ととらえてく
ると面白くなる。知り合い
の農家に苗を作る人がいるが、
美味しいので毎年買いに行く。
そのとき色々な評価をする
が、翌年必ず改良をしてく
る。こうなると農業は面白
くなるし、その人の名前の
ある商品を求めてお客が来
る。若い人は自分で考えて
最後は自分自身との戦い
だ。相手は自分しかない、
それが農業だ。

子供には30歳までに親を
越えろと言っている。親を
踏み倒しても踏み越えて
でも次へ進むことで飯南町
の畜産100年の節目を迎
えることが出来る。

最後に行政に望むことだ
が、人を育てるには金が必要
だ。今はどぶに捨てるつ
もりで若者に投資しておけ
ば、必ず将来を担う人材が
育つ。人づくりにお金を惜
しまず投資して欲しい。

編集後記

飯南町議会はこの7月末で
改選後2年を経過することか
ら、委員会条例に基づき常任
委員会など議会構成が再編さ
れます。

先の改選後、初議会におけ
る議員懇談会において、正副
議長2年交替を全議員一致で
申し合わせしており、町民に
理解される明快な結果を今月
中に示すこととなります。

我々議会広報編集委員会も
今号が最後の編集でした。「議
案一覧と採決結果を表で揭示・
討論要約・常任委員会報告の
充実」など、新たな視点から
議会の様子をお伝えしました
が、いかがだったでしょうか。

(株)サプロ島根の一方的な破
産申立に見られるように、懸
案事項とリスクを同時に抱え
た事業は、最悪の場合町民に
与える影響は計り知れませぬ。
JA肥育センター廃止後の方
向付けや里山コミッションの
新展開など、町の独自政策は
問題山積しており、議会の存
在意義はますます大きくなっ
ています。

8月より新体制で臨みます
が、引き続き皆様からの支
援とご協力を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

議会広報編集委員会

石原敏郎